

号	発行年度	表題（執筆者）
第21号 (最新号)	令和7年度	・関義臣と清国文人 一唱和詩等資料(一) — (澤崎 久和) ・総社でラクダの見世物があったそうじゃ (三好 修一郎) ・寛政二年 福井～江戸、同三年 江戸～福井の旅路 (品川 満)
第20号	令和6年度	・「光る君へ」の為時越前守赴任 (真柄 甚松) ・武生の「源氏地名(『源氏物語』54帖に因む字名)」について (品川 満) ・聖藩文庫・加越能文庫の調査 (佐藤 圭)
第19号	令和5年度	・織豊期城郭越前府中城の成立 (佐藤 圭) ・寿石堂と枕月庵 ー越前武生士族、印刻師 山本牧次・安信父子ー (三好 修一郎)
第18号	令和4年度	・日野川の合戦と千代鶴国安 (真柄 甚松) ・進脩小学校校舎の復元 (高嶋 猛) ・越前市における大正自由教育運動の展開 (坂下 博行)
第17号	令和3年度	・古川登氏「朝宮大社遺跡の再検討」 (真柄 甚松) ・金森左京家の留守居役が書き残した幕末の世相 (三好 修一郎) ・内田吉左衛門家文書に見える加藤河内 (三好 康太)
第16号	令和2年度	・馬場家が担った福井藩の役割 (真柄 甚松) ・近代武生の父 三田村甚三郎、最後の家族宛私信二通 (三好 修一郎) ・資料紹介「乍恐口上書を以奉願上候(御魚屋忠左衛門問屋職願書(案))」 (三好 康太)
第15号 (売切れ)	平成31年度	『越前市史』資料編3 中世の編さんについて (佐藤 圭)
第14号	平成30年度	・武生騒動が生んだ明治の群像 (真柄 甚松) ・近代日本の教育者「松本源太郎」とその時代 (齊藤 隆)
第13号	平成29年度	・福井藩初期重臣本多富正の連署状について (佐藤 圭) ・本保区有文書の一資料 (市史編さん)
第12号	平成28年度	・油在家町水帳について (真柄 甚松) ・平成二十八年特別展 開創六五〇年記念 正覚寺展をふり返って (公会堂記念館学芸員) ・越前市役所新庁舎建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要 (公会堂記念館学芸員)
第11号	平成27年度	・越前府中惣社の祭礼米銭注文 (佐藤 圭) ・大瀧兒権現下宮彫刻等奉加帳 (公会堂記念館学芸員)
第10号	平成26年度	・浄秀寺住職智言と竹内団の葬儀 (真柄 甚松) ・越前守に仕える侍が北山の寺にて出家した話 (三好 修一郎)
第9号	平成25年度	・全国旗本のトップ格 ー金森左京家について (齊藤 忠征) ・明治四十五年(1912)五月十一日の春季遠足 (品川 満)
第8号	平成24年度	・小川利兵衛家所蔵の蓮如書状 (小泉 義博) ・学校沿革誌から見える明治後期の教育 (日野岡 由美子)
第7号	平成23年度	・平安中期の越前守 ー 一条朝を中心に (佐藤 圭) ・「酉日記」詳述(下) (増田 哲郎)
第6号	平成22年度	・幕末の府中領主 本多副元 (齊藤 忠征) ・府中の空を笑う女の首が飛ぶ (三好 修一郎) ・資料紹介 島根県奥出雲町「櫻井家文書」について (公会堂記念館学芸員)
第5号	平成21年度	・関義臣撰『秋声窓詩抄別集』と武生騒動 (澤崎 久和) ・龍馬の海援隊に入った関義臣 (市史編さん室) ・金森左京領成立250年記念特別展「金森左京家展」開催報告 (公会堂記念館学芸員)
第4号	平成20年度	・武生騒動 ー本多家の家格問題ー (真柄 甚松) ・「酉日記」詳述(中) (増田 哲郎) ・平成20年 源氏物語千年紀の特別企画展をふり返って (公会堂記念館学芸員) ・川端五平氏の御逝去を悼む (齋藤 忠征)
第3号	平成19年度	・布利比弥の命の兄「都奴牟斯の君」考 ー『上宮記』・継体天皇の母系の人名ー (粕谷 興紀) ・「酉日記」詳述(上) (増田 哲郎) ・金森左京家文書について (齊藤 忠征) ・引接寺所蔵絵画の名品について 特別展「乱世を生きるー真盛上人」展初公開作品より (公会堂記念館学芸員)
第2号	平成18年度	・専応寺文書「拾遺愚草」について (柳澤 良一) ・「宣胤卿記」の調査 (佐藤 圭)
第1号	平成17年度	・二十世紀から何を学びとるか (畑 勝治) ・府中正願寺への寺号免許と木仏下付 (小泉 義博)